

えこえね南相馬

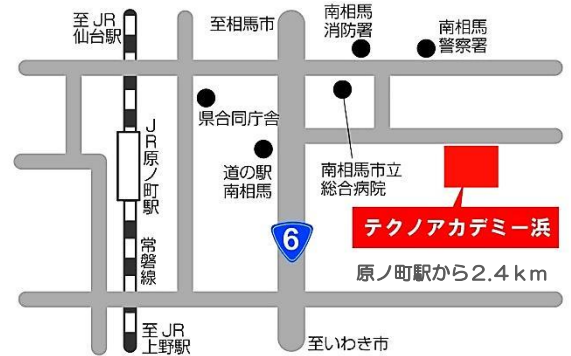
省エネ・再エネ・エコライフ セミナー

市民レベルでの環境・エネルギーへの取組みの考え方や具体的な取組み事例を学んだうえで、自分たちの暮らしにどう活かすかを皆で考え、今後の行動につなげていきます。

2016年 **1月30日(土)**
13:30~16:30

会場：テクノアカデミー浜 101教室
南相馬市原町区萱浜字巢掛場45-112
TEL: 0244-26-1555

参加費：無料 (事前申込み不要)



■プログラム

1. プレゼンテーション 13:30~15:00

① 「市民レベルの環境・エネルギーへの取組み」

= 松本真由美先生 東京大学教養学部 客員准教授

資源エネルギー庁「新エネルギー等設備導入促進事業」審査委員会 委員

「創エネ」「蓄エネ」「エネルギーの地産地消」「再エネを活用した地方創生」といった言葉が時代のキーワードになりました。市民が関わることができるエネルギー事業について日本やドイツの事例を紹介し、その社会的意義を考えます。また、中長期的な視野から再エネと省エネが社会にもたらす便益と役割についても考えます。



② 「再生可能エネルギーを活かす社会とは」

= 佐藤理夫先生 福島大学共生システム理工学類 教授

南相馬市再生可能エネルギー推進ビジョン策定有識者会議 委員長

南相馬市環境未来都市推進会議 委員長

化石エネルギー資源は有限。地球温暖化は防ぎたい。しかし原子力には頼りたくない。私たちは「省エネ」と「創エネ」の両輪をしっかりと回さなくてはなりません。再生可能エネルギーの基礎を知り、再エネ発電が主力となる未来の社会を描いてみましょう。再エネ発電所を増やした先に何が必要となるのか、見えてきます。



③ 「暮らしに活かす省エネ・再エネ」

= 高橋美加子さん (社)えこえね南相馬研究機構 理事

株式会社北洋舎クリーニング 代表取締役

環境に優しく持続可能な暮らしを市民がつくっていくためにどのような視点が大切かを、20年前に環境共生住宅を建てた時の想いと、震災と原発事故を経た現在の状況の変遷を踏まえて、お話しします。



2. みんなで意見交換 15:10~16:30

- ・南相馬の住民発の省エネ・再エネの可能性
- ・これからどんな取組みができれば良いかを考える

【主催】一般社団法人 えこえね南相馬研究機構

【後援】南相馬市 / ふくしま再生可能エネルギー事業ネット (NPO法人 超学際的研究機構)



本イベントは、「環境省 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(地域における草の根活動支援事業)」で実施されます

【連絡先】 TEL/FAX 0244-22-0700 えこえね南相馬 事務局(再エネの里) 080-2378-8322 (中山)